

KPECnews

Vol.64

2019.8.1

Kitakyushu Prosperity Enrichment Council



表紙写真 / 北九州市立旧百三十銀行ギャラリー

Contents

- 01 KPEC 新役員体制発足
- 02 KPEC 設立30周年
- 03 北九州地域産業人材育成フォーラム事業
- 04-05 北九州の企業人による小学校応援団事業
- 06 もったいない総研事業
- 07 1000人の夢寄金事業
- 08-09 北九州イノベーションギャラリー指定管理事業
- 10 KPEC 令和元年度事業計画

この旧百三十銀行八幡支店は日本近代建築の先駆者 辰野金吾(1854~1919)の主宰する辰野・片岡事務所の設計で、大正4年(1915)に建てられた、鉄筋コンクリート造りの銀行です。

外観は赤レンガ風の壁体に、玄関、柱頭、窓周りを幾何学的模様で施し、「洗出し」で石造風に仕上げ、大正期のモダンデザインを表現しています。

百三十銀行は、国立銀行条例(明治5年(1872)制定)にもとづいて、全国に設立された153行の一つで、大阪を本店とする銀行でした。

現在は北九州市立旧百三十銀行ギャラリーとして活用されており、多くの市民のみならずにご利用いただいています。



KPEC 新役員体制発足!

令和元年6月24日の定時評議委員会において、新役員が選任されました。今回の改選により、小嶋理事長、中野副理事長、山崎専務理事、加藤監事がご退任され、新しく、野畑理事長、鹿田副理事長、福本専務理事、藤田監事がご就任されました。長年にわたりKPECにご貢献いただきました、理事の皆様に対しまして、厚く御礼申し上げます。

■ 新理事長 野畑昭彦 就任のご挨拶

みなさんこんにちは、この度、KPECの理事長に就任いたしました野畑でございます。12年間勤められた前小嶋理事長から30年の伝統のあるKPECの理事長をお引き受けすることになり、その責任の重さに身が引き締まる思いです。

さて、KPECは平成元年4月に設立され、平成31年4月で設立30周年を迎えました。設立以来30年間、産・学・官・民との連携軸として、時代の変化に合わせて、数々の事業を実施してまいりました。しかしながら、設立後30年が過ぎ、北九州市を取り巻く環境・課題、そしてKPECに求められる役割も時代とともに大きく変化してきています。

現在、北九州市は「人口減少」「少子高齢化」「産業構造の変化への対応」「都市イメージの低迷」等の課題を抱えています。これらの課題を解決するためには、これまで以上に、産・学・官・民が連携した取り組みが重要になってくると考えます。

こういう状況の中で改めてKPECの役割を再確認し、産・学・官・民みなさまからの様々なご意見を伺いながら、これからのKPECの新しい役割を見出し、挑戦してまいります。

令和のスタートに合わせて、KPECの新体制がスタートしました。KPECはこれからも産・学・官・民の連携軸として北九州市の活性化のために尽力してまいります。今後とも会員企業をはじめ、関係各位の皆様のごこれまでと変わらぬご理解とご支援をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



野畑 新理事長

小嶋 前理事長

■ 前理事長 小嶋一碩 退任のご挨拶

この度、KPEC理事長を退任いたしました小嶋でございます。

平成19年の就任以来、12年の長きにわたり理事長を務めさせていただきました。これもひとえに、会員企業ならびに関係各位の皆様のご支援の賜物であり、この場をお借りしまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、就任当初から①イノベーションの創出 ②教育・人材育成 ③市民の都市格（教育力・文化力）の向上 を方針に挙げて取り組んでまいりました。①イノベーションの創出では、北九州産業技術保存継承センター（北九州イノベーションギャラリー）の指定管理者として、明日の北九州を支える新たなイノベーションへとつながる「人材活用・育成」「産業技術保存・継承（技術の知と心の継承）」「技術革新（イノベーション）機会の創出」に取り組みしました。②教育・人材育成では、「北九州地域産業人材育成フォーラム」および「北九州の企業人による小学校応援団」を組織化し、産・学・官が連携した人材育成の仕組みを構築しました。③市民の都市格（教育力・文化力）の向上では、「1000人の夢資金」を創設し、広く寄付を集め、教育文化活動に対する活動費用の助成を行ってまいりました。これらの取り組みは、会員企業ならびに関係各位の皆様のご理解とご支援によるものであり、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、新執行役員体制に移行し、新しい世代へバトンタッチいたしました。新しい世代の新しい発想で新たなKPECを目指していただきたいと思います。最後に、会員企業ならびに関係各位の皆様へ、KPECに対する変わらぬご理解とご支援をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

■ 執行役員（令和元年7月1日付）



鹿田 副理事長 野畑 理事長 宇佐見 会長 城水 副理事長 福本 専務理事

■ 新執行役員

（敬称略）

役職	氏名	企業(団体)名称	企業(団体)役職名
会 長	宇佐見 昇	(株)安川電機	顧問
理事長	野畑 昭彦*	門司港運(株)	代表取締役社長
副理事長	城水 悦子	(株)洋建築計画事務所	代表取締役
副理事長	鹿田 磨樹*	(学)西日本工業学園 西日本工業大学	理事長
専務理事	福本 司郎*	TOTO(株)	

*が新執行役員

■ 退任執行役員

役職	氏名	企業(団体)名称	企業(団体)役職名
理事長	小嶋 一碩	(株)千草	代表取締役会長
副理事長	中野 文治	(株)ぶんコーポレーション	代表取締役社長
専務理事	山崎 脛	(公財)北九州活性化協議会	専務理事

KPEC 設立30周年!

平成元年4月に設立されたKPECは、平成31年4月で設立30周年を迎えました。

■ 設立の経緯・背景

KPECは、昭和60年代はじめ、鉄冷えや不況などにより沈滞化した北九州市を活性化しようと、米国ピッツバーグ市の先例に学び、北九州市経済4団体（北九州商工会議所、西日本工業倶楽部、北九州青年会議所、北九州青年経営者会議）を母体に、998名による企業・団体や市民の賛同と協力のもとに設立されました。

昭和60年頃	北九州市は鉄冷えや不況により沈滞し、まちに暗いムード、危機感が漂っていた。
昭和60年11月	NHKが「あすを語ろう」を放映（～昭和61年5月）
昭和61年 2月	NHK討論集会「あすを語ろう」で米国の鉄の都・ピッツバーグを再生の手本にしたらとの提言をうける。
昭和61年	ピッツバーグの再生を担った民間組織「アレゲニー地域開発協議会」を手本にする気運が高まる。
～ 昭和62年	北九州青年会議所、北九州市民調査団（団長：末吉市長）、北九州商工会議所がピッツバーグに視察団を派遣。
昭和62年10月	「アレゲニー地域開発協議会」を手本にした「民間組織」の必要性を確認。
昭和62年12月	北九州経済4団体が母体となり「北九州協議会設立準備会」が発足 （北九州経済4団体：北九州商工会議所、西日本工業倶楽部、北九州青年会議所、北九州青年経営者会議）
昭和63年 9月	経済人、大学関係者、一般市民ら108人が集まり、任意団体「北九州活性化協議会（KPEC）」発足
平成元年 4月	「財団法人 北九州活性化協議会（KPEC）」誕生 （財団法人として認可）
平成22年 3月	「公益財団法人 北九州活性化協議会（KPEC）」として認可

KPEC設立30周年記念事業ご案内

1. KPEC30周年記念特別講演会の開催

KPEC設立30周年を記念して、関連団体と共催で特別講演会を開催します。

- ◇名 称：「世界に広がる北九州の明日を考える講演会」
- ◇日 時：令和元年10月7日（月） 17：00 ～ 18：15
- ◇会 場：北九州国際会議場（メインホール）
- ◇講 師：（株）三菱ケミカルホールディングス取締役会長 小林 喜光 氏
（前経済同友会代表幹事）
- ◇演 題：「危機感なき茹でガエル日本」
- ◇主 催：（公財）北九州活性化協議会
- ◇共 催：北九州市 福岡経済同友会 北九州商工会議所
（予定）
（一社）西日本工業倶楽部 （一社）北九州青年会議所
（一社）北九州青年経営者会議 （一社）北九州中小企業経営者協会
（公財）北九州観光コンベンション協会 （公社）北九州貿易協会



2. KPEC30周年記念式典の開催

KPEC設立30周年を記念して、記念式典を開催します。

- ◇日 時：令和元年10月7日（月） 19：00 ～ 20：30
- ◇場 所：リーガロイヤルホテル

3. KPEC30年史の発行

KPEC設立30周年を記念して、「KPEC30年史（仮称）」を発行します。
（令和元年10月発行）

北九州地域産業人材育成フォーラム事業

「人づくり革命」「生産性革命」の政策推進を背景に、北九州地域の地方創生戦略としての役割が拡大している「北九州地域産業人材育成フォーラム」事業。北九州地域の工学系大学・高専と、ものづくり中堅・中小企業が協働で進める当事業は、産学連携による「地域連携型インターンシップ」を多様に展開し、連携校の学生の社会人基礎力と実践力の育成に大きく寄与すると共に、地元就職促進にも貢献しています。

■ 北九州ものづくり企業研究・交流会

「かつて、これほどの工学系大学生が、私たちの企業ブースに来たことがあったでしょうか？」交流会で挨拶に立った(株)リョウワの田中社長は興奮気味に杯を挙げた。

産業人材育成フォーラムの新企画である「北九州ものづくり企業研究・交流会」を、5月29日(水)にひびきのキャンパスで、6月1日(土)に九工大戸畑キャンパスで開催しました。

北九州ものづくり企業研究・交流会

九工大 戸畑キャンパス	北九大 ひびきのキャンパス
日時 2019年6月1日(土) 13:00~17:00 会場 西岡中村記念館 多目的ホール+オープンギャラリー	日時 2019年5月29日(水) 13:00~17:00 会場 北九州芸術研究都市 会議場イベントホール
目的 学部1~3年、修士 : 企業研究、インターンシップミーティング 学部4年、博士 : 就職相談、実践型インターンシップ 教員・学校スタッフ : 企業研究、調査、企業との交流機会 参加企業 : 企業PR、インターンシップ誘致、採用活動、連携機会創出 等	
参加校 九工大 戸畑校 西日本工業大学 北九州工業大学 福岡造形大学(ひびきの) 北九州芸術 北九州工業大学(北九州) 九州工業大学 早稲田大学 産業経済大学 COC+関連大学	
参加企業 36社	参加企業 21社
同席者 ① 各会場とも産学の一環として学生の参加を働きかけ、戸畑会場：九工大(戸畑)形成入り、授業経験生や短期留学生の参加など、ひびきの会場：北九大(工学)後援、授業経験生の参加など ② 授業での案内、学内ポスター掲示、看板等による告知、COC+各校における学内告知	

文部科学省等の指導においても、学生の実践力形成を目的としたインターンシップの拡充が求められる中、地元の中堅・中小ものづくり企業の認知向上の具体的な対策として新しく企画、開催しました。また、大学の地域連携・貢献も強く求められている環境を反映し、研究者や教職員なども多数参加、企業の交流機会になりました。

ひびきの会場の「地元企業研究会」には企業21社が出展、173名の学生が参加しました。一方、戸畑会場の「地元企業研究会」には企業36社が出展、276名の学生が参加、同時開催の「企業セミナー」に273名参加、また、「企業と学生・教員との交流会」に119名の学生とフォーラム連携校の教員、出展企業の社長等が参加し、とてもエネルギー交流の交流会になりました。

この企画は、産業人材育成フォーラムならではの新機軸として、地元雇用促進に繋がる新しい戦略ツールとして高い評価を得て、来年以降の開催に期待が高まっています。



■ 「北九州地域ものづくり企業情報誌」制作・配布

産業人材育成フォーラム事業を協業する地元企業情報を収録した「北九州地域ものづくり企業情報誌」6000部を制作、フォーラム連携校の2年生、3年生全員に配布し、学生に対する地元企業の認知向上を図っています。

■ 地域連携型インターンシップの多様な展開

産業人材育成フォーラムの「地域連携型インターンシップ」は、従来の「研修型(短期)」を始めとして、様々なニーズに対応する「実践型(長期)」「高専型(長期)」「イノベーション誘発型(長期)」などを展開しています。

九工大が先行実施している実践型(長期)インターンシップの期間は3か月から6か月、原則有給で実施しています。それぞれの企業でテーマを決め、学生と社員が協働して課題解決に取り組みます。それによって、学生の実践力養成だけでなく、企業の課題解決にも繋がり、学生が実務を経験することで企業を知り、理解し、就職にもつながるケースが出てきています。

特に、専門知識を持った学生が実践型(長期)インターンシップで課題解決に取り組むことで、T社では生産ラインのIoT化に成功しました。実践型(長期)インターンシップが企業の生産性向上に繋がる事例です。



IoTシステムにより生産実績がモニターに表示される



生産実績表示カウンタを監視するWEBカメラ

■ 「MBAサテライトフォーラム」「採用力強化セミナー」

北九州市立大学大学院マネジメント研究科と協業で地元中堅・中小企業の採用力強化を目的とした「中堅・中小企業向け『採用力強化セミナー』」を企画、開催しました。

地元中小企業経営者24名と現役大学生17名で検討チームを5チーム設定し、新卒に関する採用課題を3か月にわたるグループワークなどを通じて、2019年度採用活動に向けての具体的なプランを策定しました。



■ フォーラムの連携企業は着実に拡大!

北九州地域の中堅・中小ものづくり企業約1150社の中から、315社を選定、地域連携型インターンシップ実施対象企業を拡大してきました。現在、研修型(短期)参加企業は179社で、研修型(短期)だけでなく実践型(長期)インターンシップや産学連携事業等のプラットフォームとしてフォーラム事業運営の基盤となっています。

北九州の企業人による小学校応援団事業

こどもたちの健全な育成を図るうえで、特にその後の人間形成の基礎がつくられる小学校の時代は非常に重要な時期です。子どもたちが小学校の時期を大切に過ごすことができるようにするためには、保護者（PTA）や教職員だけでなく、地域社会をあげて、みんなで心をつなげて支えあう環境づくりが必要です。このようなことから、「北九州の企業人による小学校応援団」は、地元企業が志を持って結束し、小学校を支援することを目的として、平成23年10月に発足し、これまで支援対象校を拡大しながら活動を展開しています。

■ 平成30年度の活動状況

平成30年度から新たに登録テーマ以外のオリジナルオーダー方式の出前授業を開始しました。

- ① 支援対象校：131校（北州市立の全小学校） ② 登録テーマ数：123テーマ（H29年度120テーマ）
③ 参加企業数：449社（H29年度439社） ④ 実施件数：253件（H29年度212件）※オリジナルオーダー方式：採用校6校、実施件数18件

■ 平成30年度実施テーマ

テーマ	企業・団体名	件
児童対象の出前授業		
オリジナルオーダー	***	18
けんこうなくらしと水のかかわり	TOTO(株)	1
どんぐりの森づくり	TOTO(株)	3
人々の健康や地球環境を考える小学生石けん教室	シャボン玉石けん(株)	1
環境教室(冷熱実験付)	西部ガス(株)	1
燃料電池教室(水と電気分解実験付)	西部ガス(株)	3
安全教室(地球に優しいアロマキャンドルを作ろう)	西部ガス(株)	8
科学する心の啓発(郷土が生んだ偉人・藤田博士の業績を学ぶ)	藤田哲也博士記念会	1
磁石教室(磁石を利用したひびのを見つけ方実験)	計測検査(株)	1
生ごみのリサイクル～環境にやさしいしくみ～	楽しい(株)、アサヒカルピスウェルネス(株)	2
環境や生態系等について	タカミヤ・マリバー環境保護財団	1
北九州空港と空港で働く人について	北九州エアターミナル(株)	2
インターネットを使った情報の集め方と情報の正しさ	ヤフー(株)	3
ドローンの楽しみ方と安全への心構え	一般社団法人北九州無人航空機振興会	5
薬物乱用防止、くすりの正しい使い方	公益社団法人北九州薬剤師会	4
社会貢献教育「寄付の教室」*	一般社団法人生き方のデザイン研究所	8
筆談サポーターになろう!	一般社団法人生き方のデザイン研究所	1
点字の世界へようこそ♪	一般社団法人生き方のデザイン研究所	4
生き方のデザイナー出前授業(高学年)	一般社団法人生き方のデザイン研究所	5
生き方のデザイナー出前授業(低学年)	一般社団法人生き方のデザイン研究所	1
主体的に生きるチカラを育むドリームマップ授業	一般社団法人生き方のデザイン研究所	54
自分をいかせる職業分野を見つけよう	(株)夢をかなえる研究所	3
ごみのリサイクル	光進工業(株)	1
ごみをしげんにかえるしくみ(4年社会科「ごみはどこへ」と連動)	新日鉄住金エンジニアリング(株)	2
レゴブロックを使った設計体験	新日鉄住金エンジニアリング(株)、NSプラント設計(株)	8
牛乳パックリサイクル出前授業(手すきはがきづくり体験付)	全国牛乳パックの再利用を考える連絡会	5
ルール、挨拶、マナー、言葉づかい	(株)ケイ・ビー・エス	7
お葬式のマナー(冠婚葬祭のマナー)	(株)サンレー	2
「解釈のちから」で学ぶ法教育	福岡県司法書士会 北九州支部	1
笑顔が生まれるコミュニケーション	(株)ニッソー	1
大型紙芝居による情操教育「はくぞう座」の出前公演	(株)JSP-Link	3
高齢者の疑似体験を通じた高齢者の理解と介護の仕事について	公益社団法人北九州高齢者福祉事業協会	7
「いのちの大切さ」	看護師(公益社団法人誕生学協会)	7
地図記号を見つけよう	(株)ゼンリン	6
パティシエの仕事(職業の紹介)	(有)こうのと	2
保育士の仕事	北九州市保育士会	2
自衛隊について(災害派遣)	自衛隊	4
食の安全・安心「食品を安心して食べてもらうための企業努力」	(株)かば田食品	1
親子料理教室	日本司厨士協会西日本地方本部	1
走り方教室	実業団陸上部及びOB会(北実会)	49
電気をつくるしくみを知ろう	九州電力(株)北九州支社	3
ビーチサッカー選手と一緒にサッカーをしよう～ボール一つで仲間づくり	一般社団法人ドルソーレ	3
オリジナルオーダー：ジェトロ北九州、旬ゼムケンサービス、福岡県行政書士会北九州東支部、九州市どうぶつ公園協会、九州共立大学、九州工業大学、公益財団法人北九州活性化協議会		

■ 平成30年度実施テーマのつづき

テーマ	企業・団体名	件
児童対象の見学		
交通安全見学	西鉄バス北九州(株)	1
教職員対象の研修		
お客様対応とCS(顧客満足)対応	TOTO(株)	1
接遇、ビジネスマナー、電話対応、クレーム対応	(株) ケイ・ビー・エス	2
視覚トレーニング「見る力を育てる!」	(株) 大商/イプラスジム北九州	1
保護者(P.T.A)対象の研修		
子どもを算数好きにする(家庭で算数を体感)	家庭教育力研究所	1
お葬式のマナー(冠婚葬祭のマナー)	(株) サンレー	1
企業直申込み(窓口紹介)(児童向け)		
交通安全教室	西鉄バス北九州(株)	2

■ 出前授業を実施した小学校からの感想

職業 パティシエの仕事

(有)こうのとりの

● 動画による仕事内容だけでなく、仕事に向かう気持ちや夢のもち方まで、しっかりと話していただいたことにより、子どもたちにとって大変分かりやすかった。

〈児童の感想〉

● 夢をしっかりもち、その夢を口に出すことで夢は現実になっていくのだとわかった。何事もあきらめずに、ずっとずっと続けていくことが大切だと思った。



職業 北九州空港と空港で働く人について

北九州エアターミナル(株)

● 最初に北九州空港など日本の空港についての概要があり、空港で働く人、飛行機の説明と他分野に分かれていたので、それぞれで興味がある子がいて、よかったです。

〈児童の感想〉

● ぼくたちの近くにある北九州空港が日本でも珍しい24時間で、埋立地の空港であることに驚きました。もっと北九州空港について知りたいと思いました。
● 裏で支える仕事もとても必要だと分かった。チームワークを大切に、自然と寄り添いながら頑張っているんだと思った。



環境 生ごみのリサイクル

楽しい(株)、アサヒカルピスウェルネス(株)

● 実験や菌を見せていただく場面では児童が身を乗り出して積極的に学習に参加していた。スライドを見たり、話を聞いたりしてプリントにメモをする等、児童が意欲を持って学習に取り組んでいた。
● 普段、見られない菌を実際に見ることによって、菌について興味をもっていたので、効果があった。

〈児童の感想〉

● 菌が悪いものだけではなく、よい働きをするということをはじめて知った。
● 菌がお米よりとても小さいことが分かった。



体育 ビーチサッカー選手と一緒にサッカーをしよう

一般社団法人ドルソーレ

● ミニゲームを通して、クラスが一丸となって強い相手と闘うシチュエーションが生まれた。その結果、仲間を応援したり励ましたり、チームワークの大切さを実感しみんなで達成感を味わうことができた。
● サッカー好きな子どもたちに限らず、実際にプロ選手のプレーに触れることができ興奮していた。

〈児童の感想〉

● 最初はできるかなとか不安だったけど、チームで協力することで勝ちたいとか強い気持ちが生まれてきたのだと思います。だから、私も何かをするときは、強い気持ちで行動して、最後の1か月みんなのためにがんばって卒業したいです。



社会 レゴブロックを使った設計体験

新日鉄住金エンジニアリング(株)、NSプラント設計(株)

● できるだけ安い費用でデザイン性の高いごみ処理工場を建設するために、グループで話し合いながらゲーム感覚で、設計を学ぶことができたのでよかった。

〈児童の感想〉

● 意見が対立することもあったけど、相手の思いを考えて聞くことができた。
● これからの図工や算数の時間に役に立つなと思いました。



教職員研修 接遇、ビジネスマナー、電話対応、クレーム対応

(株) ケイ・ビー・エス

● (研修後) 全職員が「3コール内に、電話に出ること」を徹底している。特に、若年の教員が率先して電話対応をするようになったので、効果があった。
● 若年対象としながらも、ベテランも自分自身を見直す良い機会となっていた。

教職員研修 お客様対応とCS(顧客満足)対応

TOTO(株)

● 「お客様対応とCS(顧客満足)」で実際の企業が実施しているクレーム対応を学校現場に置き換えて紹介していただいた。
● クレーム対応の基本方針は学校も企業も同じだということが分かった。

教職員研修 視覚トレーニング「見る力を育てる!」

(株) 大商 / イプラスジム北九州

● 見る力に関する児童の困り感を理論的にとらえ、見る力を育てるために効果的なトレーニング法を実際に体験することができた。

「もったいない総研」事業

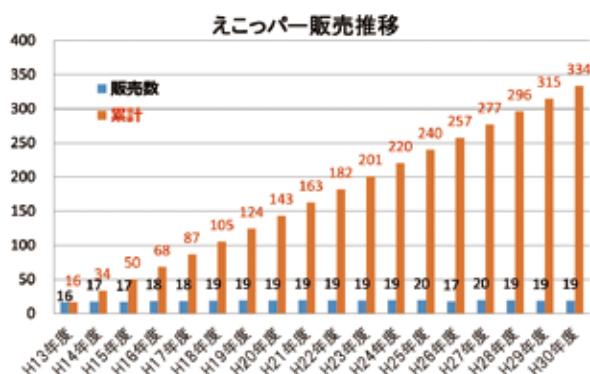
「もったいない総研」は、北九州市の様々な“価値あるモノ”をシビックプライドのコンテンツとして、その継承と活用を推進していきます。その一つとして、環境首都を目指す北九州市のエコマインドの普及・啓蒙のツールとしての北九州紙「えこっパー」のブランディングの向上に取り組んでいます。

■ 北九州紙「えこっパー」の普及拡大

1. 「えこっパー」販売数

累計333万バック（2000万個）突破！

- 平成30年度：18万8000バック（112万8000個）
- 販売累計：333万6000万バック（2000万個）



昨年に引き続き、「えこっパー」を製造・販売している大分製紙株式会社様より、当協議会が運営する「1000人の夢資金」へ20万円のご寄付いただきました。

市民のみなさまの文化・教育活動への助成として活用させていただきます。

2. 「第1回環境首都北九州SDGsアワードESD表彰」特別賞を受賞！

「えこっパー」の普及拡大（周知）を目的に「第1回環境首都北九州SDGsアワードESD表彰」に応募し、特別賞を受賞しました。（テーマ：「リサイクルトイレットペーパー「北九州紙えこっパー」による「もったいない」を未来に引き継ぐ事業」）

ESD表彰授賞式（北九州ESDフォーラム）において「えこっパー」の活動発表を行い、行政・市民・各種NPO団体に向けて「えこっパー」のPRを行いました。



■ 北九州の近現代建築の基礎調査・研究

北九州イノベーションギャラリー（KIGS）と連携し、北九州における近現代建築の基礎調査・研究を実施しました。



【KIGS研究報告書】
「北九州における近現代建築の地域資源としての意味と評価」

■ 旧百三十銀行ギャラリーの指定管理の受託

近現代建築物の保存・継承等のファシリティマネジメントの企画・研究を目的に「特定非営利活動法人北九州の文化財を守る会」と旧百三十銀行ギャラリー管理運営共同事業体を編成し、旧百三十銀行ギャラリーの指定管理者に応募し、平成31年4月1日から5年間の指定管理者の指定を受けました。「守る会」の持つ近現代建築に関する知見、保有資料と当協議会の産・学・地域とのネットワークを活用し、北九州地域の活性化に繋がる活動を目指します。



【旧百三十銀行ギャラリー紹介】

名 称：北九州市立
旧百三十銀行ギャラリー
住 所：〒805-0061 北九州市
八幡東区西本町1丁目20番2号
●TEL (093)661-9130
●FAX (093)661-9133
開館時間：10:00～18:00
休 館 日：年末年始（12月29日～1月3日）



1000人の夢寄金事業

平成24年9月に市民の都市格（教育力・文化力）向上を目的としてスタートした「1000人の夢寄金事業」も7年目を迎えました。平成30年度も昨年に引き続き寄付金募集事業と活動資金助成事業を実施しました。

■ 寄付金募集事業

1. 寄付金募集状況

- 平成30年度は、年間最高額の寄付をいただきました！
- ◆平成30年度寄付金（平成30年4月～平成31年3月）
件数：185件 金額：2,271千円（年度最高額）
 - ◆寄付金累計（平成24年10月からの7年間）
件数：626件 金額：12,770千円

2. 寄付金募集イベント

- 平成30年度はチャリティーゴルフ、バザーを開催しました。
- ◆第5回 1000人の夢寄金・チャリティーゴルフを開催しました。
開催日：平成30年11月5日（月）
場所：若松ゴルフ倶楽部
平日にもかかわらず趣旨に賛同いただいた71名の方々にご参加いただき、秋空の好天の中、プレーを楽しまれました。213千円のご寄付が集まりました。



- ◆第2回クラフト・チクチク〈チャリティーバザー〉を開催しました。
開催日：平成30年10月26日（金）～27日（土）
場所：北九州まなびとESDステーション
手作りの作品の提供およびワークショップ12店舗、現地販売店6店舗が参加してチャリティーバザーを開催しました。2日間で延べ300人以上の来場者があり、大盛況となり、売上高の中から経費を除いた167千円を夢寄金へご寄付いただきました。また、第1回バザーから誕生した地元小倉織の端切れ生地を使った縫いぐるみ「縞縞のシマウマ」「時時ヨコシマなカバ」「シマウマ組」が大好評で平成30年度末までの累積販売実績は261頭。寄付金額は783千円に達し、夢寄金寄付事業のひとつの大きな柱に成長しており、現在も好評販売中です。



■ 活動資金助成事業

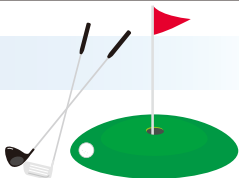
1. 第7回助成団体の事業概要（平成30年9月26日審査委員会にて決定）

- 平成30年度は、9つの事業へ2,000千円の助成を行いました。
- 対象活動期間：平成30年10月1日から平成31年9月30日 ●応募：16件 ●助成先：9件（助成金合計2,000千円）

助成先団体名	事業名
KITAG MUSIC BATTLE PROJECT 代表 藤田 大吾	KITAG MUSIC BATTLE
もじこうアート・プラットフォーム 代表 池上 貴弘	MAP 玄関口プロジェクト2018
（一社）北九州青年経営者会議 ヤングサタ実行委員会 代表 丹生谷 雅俊	第20回ヤングサタチャリティー吹奏楽コンサート・プレゼント配布イベント
北九州文化連盟 代表 井生 定巳	北九州市制55周年・北九州文化連盟創立55周年記念「子ども芸術祭」
絵本カーニバル実行委員会 代表 村岡 純	旅する絵本カーニバル in 東田
（一社）生き方のデザイン研究所 代表理事 遠山 昌子	子どもたちが主体的に生きるチカラをはぐくむ「生き方のデザイン授業」
八万湯（はちまんゆ）プロジェクト実行委員会 代表 森 秀信	やはたアートマンス2018 ～パレットの樹～関連企画「EAT IT!」
北九州キャリア教育研究会 代表 木原 大助	・キャリア教育「夢授業」 ・児童養護施設入所児童へのキャリア教育サポート
竹林共振プロジェクト 代表 田中 昇三	竹林共振プロジェクト

■ 第6回1000人の夢寄金・チャリティーゴルフを開催します！

- 第6回 1000人の夢寄金・チャリティーゴルフを開催します。
- 開催日：令和元年11月6日（水） ●場所：若松ゴルフ倶楽部



北九州イノベーションギャラリー事業紹介

北九州イノベーションギャラリーでは、官営八幡製鐵所の世界文化遺産登録の紹介とあわせて、当地固有の歴史的風土と、そこに蓄積してきた「人材」「技術」「産業遺産」の3つの資産を活用し、企画展の開催やセミナー・工作教室・見学ツアーや連携イベントなど様々な事業を意欲的に実施しました。

平成30年度は、過去最高記録となる入館者数（利用者、企画展観覧者、教育プログラム参加者）を達成しました！

■ 平成30年度の主な実績

過去最高の入館者数を達成！

- 利用者数 90,525名(目標達成率 133.1%)
- 企画展観覧者数 46,287名(目標達成率 231.4%)
- 教育プログラム参加者数 27,940名(目標達成率 207.0%)

■ 企画展示に関する事業

様々な視点でイノベーションを紹介する企画展4回と特別展1回を以下のとおり開催しました。

春企画展	くらしを包む パッケージ展
夏企画展	たのしい文房具の世界展
秋企画展	光のふしぎ展2
冬企画展	長崎街道(シュガーロード)と北九州の路地裏
特別展	未来を見つめる高校生の作品展

春企画展



夏企画展



秋企画展



冬企画展



特別展



■ 教育普及に関する事業

1. イノベーションフォーラムの開催

科学、技術、産業等に関する先端的知見を提供し、自らイノベーションを志す人材を育成するため、イノベーションフォーラムを開催しました。

●テーマ 「ロボットとイノベーション」

●講師 善甫 英治 / 北九州産業学術推進機構 国家戦略特区
ライン 介護ロボット技術グループ長
澤 俊裕 / 日本ロボット学会会長、(株)安川電機顧問



2. 技術革新セミナーの開催

今日の技術革新につながる科学発展の歴史を2回シリーズで開催しました。

- ① 科学の歴史(1) ～力学はどのように創られたか～
有賀 暢迪 / 国立科学博物館 理工学研究部 研究員
- ② 科学の歴史(2) ～明治日本、西洋の科学と出会う～
有賀 暢迪 / 国立科学博物館 理工学研究部 研究員

3. デザインセミナーの開催

デザインを表現として多角的に感じる機会を提供しました。

- ① 「パーツバイキングでデザインする～クリスマス・タペストリーの創作」
加来ますみ / 北九州クラフト協会会長
- ② 指で描く!「カラフルチョークアート教室」
田島奈保 / チョーク看板王(BSテレビ東京・テレビチャンピオン極)



4. デジタル工房関連

自らのデザインをデジタル工作機器で具現化するKIGSデジタル工房は会員数が増加し、デザインと作品の幅が広がってきました。またスタッフのオリジナルデザインで開催するワークショップも盛況で女性等新たなファン層が増加しています。今後も多様な階層の皆さんにデザインとモノづくりの楽しさを伝える活動を展開していきます。



5. その他

市民セミナーや各種連携事業等を開催しました。

(1) 市民セミナー

- ① 産業映像「北九州オンリーワン企業物語①」上映会
- ② 「世界初!赤紫蘇コスメ芦屋町の開発者が語る美肌術」

(2) 各種連携事業等

- ① 東田たたらプロジェクト
- ② 技術士会との共催事業
- ③ 東田3館連携によるサマースクールや世界一行きたい科学広場の開催
- ④ ワークショップの出前



■ 調査研究に関する事業

産業技術の保存と次世代への継承を目的として、国立科学博物館、技術士会などと連携し、自主調査研究を行うとともに共同研究や委託研究を行いました。また、平成 29 年度に実施した調査研究の報告会を開催しました。

1. 調査研究

- ① 「北九州における宇宙環境技術の歴史と発展」九州工業大学 趙教授をはじめとする専門家に委託し、報告書を作成。
- ② 「北九州における近現代建築の地域資源としての意味と評価」九州工業大学の佐久間教授をはじめとする専門家に委託し、報告書を作成。
- ③ 「『クロック』の系統化調査」国立科学博物館と共同研究し、報告書を作成。



2. 調査研究報告会

- ① 「北九州におけるレベル計測技術の歴史と発展」
報告者：山田雅彦 / (株)マツシマメジャテック常務取締役
- ② 出前講座 久留米ソフトリサーチパーク
「天然及び合成ゴムの技術的歴史と発展」
報告者：西村 伸 / 九州大学大学院 工学研究院教授
- ③ 「北九州における鍛造技術の歴史と発展」
報告者：宮田 守次 / ミカメック品質技術研究所代表

安西 敏雄 / 株式会社高田工業所 理事・技術本部副本部長

④ 「嗅覚センサーと匂い応用研究の歴史と発展」

報告者：林 健司 / 九州大学 教授

⑤ 「モーターコア打抜き金型の系統化調査」

報告者：尾畑 隆一 / (株)三井ハイテック 国立科学博物館 産業技術史資料情報センター 前主任調査員



■ 映像・図書収集及び公開に関する事業

イノベーション・産業技術・デザインに関する図書および企画展と連動する図書の他、北九州企業の社史を積極的に収集すると共に、イノベーションに関する映像を制作しました。

① 図書の購入数

1,154 冊（書籍 730 冊、雑誌 424 冊）

② 図書の寄贈受入数

133 冊（社内報 67 冊、報告書等 58 冊、一般書等 8 冊）

③ 映像の制作

今年度も北九州市が認定した「北九州オンリーワン企業」4社の独自技術と製品を一般も分かりやすい技術革新物語として「輝くキタキウのプロダクツ2～北九州オンリーワン企業物語（約35分）」を制作しました（日・英・中・韓の4カ国語）。

今回も、独創的なオンリーワン技術を分かりやすくするために、技術革新した当時を再現する物語シーンを挿入しています。



KPEC 令和元年度 事業計画

■ 公益目的事業 1

北九州市地域の活性化に関する調査・研究を行うとともに、産学官民と連携して、北九州地域の発展に寄与することを目的とした事業。

1 “もったいない”を未来に引き継ぐ事業 (もったいない総研事業)

KPECの創立10周年事業として創設した「もったいない総研」の運営理念を踏まえた地域活性化事業の企画、開発及び事業化を行う。

- 1) 「北九州紙えこっパー」の普及強化の実施
- 2) 北九州地域の近現代建築物等の活用に関する研究の実施
- 3) 旧百三十銀行ギャラリーの指定管理事業の実施及びファシリティマネジメントの研究の実施

2 産業人材を育成する事業 (北九州産業人材育成フォーラム事業)

地元理工系大学・高専等と中堅・中小企業との協働による産業人材育成の地域システムの構築と、これを活用した地域企業の経営力(人材力)強化と雇用環境の改善を図るため、「北九州地域産業人材育成フォーラム」を編成し、青少年から社会人に至る産業人材育成の地域システム創りとその持続的発展の仕組み創りを進める。また、北九州市と協働で、北九州市における技能伝承活動に関する業務を実施する。

- 1) 高度人材育成プログラムの企画、運営
(地域連携インターンシップ)
- 2) 社会人育成プログラムの企画、運営
(MBA活用プログラム)
- 3) 青少年育成プログラム事業の企画、運営
(理工系イベント紹介ウェブサイト「かがたま」の運営)
(KIGSと連携したものづくり教育事業の企画、開発)
- 4) 産業人材育成の地域クラスター形成の環境整備

3 次世代を担う人材を育成する事業 (北九州の企業人による小学校応援団事業)

北九州の将来を担う子どもたちの健全育成を目指し、北九州市内の企業・経済団体等が連携して、市内小学校(131校)の児童、教員および保護者を対象に、学習支援(出前授業、見学受け入れ)、教職員・保護者の研修支援(講師派遣、見学受け入れ)、保護者のPTA活動支援などの教育支援に取り組む。

- 1) 支援事業の実施と充実
出前授業、教員や保護者(PTA)向けの研修の継続実施とテーマの更なる拡充
- 2) 支援体制の充実
参加企業の拡大を図るとともに、利用者の利便性の向上やサポート体制の向上を図る

4 都市格(文化力・教育力)を向上する事業 (1000人の夢寄金事業)

教育と文化を、都市格(都市の品格)向上の重要な基本要素と考え、北九州市の教育力・文化力を高め、真に魅力あるまちづくりを進めて行くために、市民の寄付を募り、教育や文化的活動を行う市民活動に対して活動費用を助成する「1000人の夢寄金」(以下、夢寄金)事業を推進する。

- 1) 「1000人の夢寄金」寄付金の募集
- 2) 「1000人の夢寄金」助成事業の募集と助成
- 3) 広報・プロモーション事業の実施

5 まちづくり推進事業

北九州地域の活性化のための各種事業の企画、開発及び運営に必要な研究・調査を行うと共に、事業の運営基盤となる産学官民の連携軸の構築等のまちづくり推進事業を実施する。

- 1) 北九州地域の活性化に資する新規事業の調査・研究の実施
- 2) 地域づくりネットワークの構築
- 3) まちづくり事業の支援、協働の実施
- 3) まちの活性化に関する情報発信事業
- 4) 創立30周年記念事業の実施

■ 公益目的事業 2

北九州イノベーションギャラリー指定管理者事業

北九州地域の「人材」「技術」「産業遺産」の3つの資産を活用し、新たなイノベーションへとつながる(1)人材活用・育成、(2)産業技術の保存継承(技術の知と心の継承)、(3)技術革新(イノベーション)の機会の創出を行い、人・知を結集し、北九州の発展に必要な新産業を生み出すとともに、北九州イノベーションギャラリーを媒体とした技術教育を通じ、世界に貢献できる人材の育成を目的とした北九州イノベーションギャラリー指定管理者事業

- 1) 教育普及に関する事業の企画、運営
- 2) 調査研究に関する事業の企画、運営
- 3) 企画展示に関する事業の企画、運営
- 4) 映像・図書等収集及び公開に関する業務の企画、運営

■ 法人運営事業

「公益法人法」を遵守し、法人運営を適切に維持・管理し、かつ、当協議会の公益目的事業を円滑に遂行するために必要な、組織運営体制および財務基盤の強化を図る。

- 1) 事業運営・管理体制の強化
- 2) KPECの経営基盤の強化
- 3) 会議等の実施

なかなか見られない、さわれないが大集合!

九州初上陸
も、あるヨ

オリンピック銀メダリスト
太田雄貴さんと疑似対戦
VRフェンシング
WAO!
EXCITING!
WINNER!

アスリートを支える
相棒たち

絶対ハマる!
クレ-射撃
シミュレーター
BANG!
SHOOTING!

JUMP!

7.20 SAT → 9.29 SUN

北九州イノベーションギャラリー 企画展示ギャラリー
福岡県北九州市八幡東区東田2-2-11 TEL:093-663-5411

開館時間	9:00~19:00 土・日・祝日、夏休み中の 月曜日は17:00まで (入場は閉館の30分前まで)	休館日	毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌日) 7月22日(月)~8月19日(月)の 月曜日は開館	観覧料	大人:500円/小・中学生:250円 団体30名以上は2割引 障害者・年長者割引有り 毎月第2日曜日は中学生以下無料
------	---	-----	---	-----	---

【主催】北九州市、北九州イノベーションギャラリー 【後援】北九州市スポーツ協会、北九州市教育委員会、北九州市PTA協議会、北九州商工会議所
【協力】日本フェンシング協会、日本クレ-射撃協会、日本猟用資材工業会、日本障がい者スポーツ協会、日本パラ陸上競技連盟、日本車いすバスケットボール連盟、九州車いすバスケットボール連盟、福岡県カーリング協会、(株)NTTドコモ、(株)クイックレスポンス、Scherma、大日本印刷(株)、(株)ニシスポーツ、パピオアイスアリーナ、北栄電気(株)、(株)ミカサ、美津和タイガー(株)、(株)ライゾマティックス 他 <順不同>

こども文化パスポート対象事業



<https://www.kigs.jp/>

KIGS

検索

KIGS
北九州イノベーションギャラリー
産業技術保存継承センター
KITAKYUSHU INNOVATION GALLERY & STUDIO